

第6回板橋区ボランティア活動推進協議会 要点記録

会議名	第6回板橋区ボランティア活動推進協議会
開催日時	令和5年8月8日(火)午後2時から午後3時30分まで
開催場所	板橋区役所 災害対策室 A・B
出席者	<p>[委員]17人(敬称略) 佐藤陽(会長)、鈴木織恵、長澤重隆、松村良子、田口晋、石川隆彦、関根正孝、沼和子、藤田保代、小池睦美、矢野由加、馬場充好、平野江里子、増田百合、河毛哲郎、前田康夫、林栄喜(欠席:1人)</p> <p>[オブザーバー] いたばし総合ボランティアセンター所長、副所長</p> <p>[事務局] 地域振興課長、地域振興課地域振興係職員</p>
会議の公開(傍聴)	公開
傍聴者数	1人
議題	<p>1 開会 2 議題 (1) 第6回ボランティア活動推進協議会 検討の進め方 (2) 第5・6回ボランティア活動推進協議会 専門部会検討結果 (3) ビジョン素案について 3 閉会</p>
配付資料	<p>資料6-1 第6回ボランティア活動推進協議会 検討の進め方 資料6-2 第5・6回ボランティア活動推進協議会 専門部会検討結果 資料6-2【別紙】いたばし総合ボランティアセンター運営ビジョン2030(素案) 資料6-3 第5回板橋区ボランティア活動推進協議会 要点記録 資料6-4 第5回ボランティア活動推進協議会専門部会 要点記録 資料6-5 第6回ボランティア活動推進協議会専門部会 要点記録</p>
会 長	<p>1 開会 これから、第6回ボランティア活動推進協議会の開催をさせていただきたいと思えます。まずは出席の確認の方、事務局のほうお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>はい。本日もどうぞよろしくお願ひいたします。 事務局から出席状況等のご連絡をさせていただきます。 本日の会議でも、議事録を作成する関係から、議事の内容は録音させていただきたいと思えます。また会議の様子も、途中で写真撮影をさせていただきますので、あわせてご了承くださいければと思えます。 本日、1名の方が傍聴をされております。 本日の委員18名中17名の委員が参加されておりました、過半数を満たしておりますので、本協議会は正式に成立しております。 それでは議事の進行、会長、よろしくお願ひいたします。</p>

会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それではまず初めに、資料の確認をいただきたいと思いますので、事務局の方お願いいたします。</p>
事 務 局	<p>はい。それでは、着座にて説明をさせていただきます。</p> <p>資料6-1、こちらの方は協議会の検討の進め方でございます。</p> <p>資料6-2、こちらの方が第5回・第6回こちら専門部会の検討結果となっております。それに付随して、6-2の別紙として、ビジョンの素案がついてございます。</p> <p>6-3は、第5回の協議会の要点記録。6-4と6-5は、それぞれ第5回、第6回の専門部会の要点記録となっております。</p> <p>資料に不足はございませんでしょうか。それでは議事運営を会長よろしくお願いたします。</p>
	<p>2 議題</p> <p>(1) 第6回ボランティア活動推進協議会 検討の進め方</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは第5回の協議会、前回の協議会の内容も、日にちも立ちましたので、少し振り返りをしながら、議題、本日は三つ議題がありますが、議題の1、第6回ボランティア活動推進協議会検討の進め方、こちらについてまず事務局のほうから説明をしていただきたいと思います。お願いします。</p>
事 務 局	<p>(事務局から資料6-1、6-3、6-4、6-5について説明)</p> <p>(要点記録の内容は、資料のとおりで委員了承)</p>
	<p>(2) 第5・6回ボランティア活動推進協議会 専門部会検討結果</p>
会 長	<p>ありがとうございます。今説明ありましたように、専門部会のところで丁寧に組んでいただいて、今日素案ができてきているというところですので、これからその内容について確認をしていきたいと思います。</p> <p>続きまして議題の2、第5回・第6回ボランティア活動推進協議会専門部会、こちらの検討結果の報告及び、今説明のところでありました、3のビジョンの素案について事務局の方から説明をお願いしたいと思います。</p>
事 務 局	<p>(事務局から資料6-2、6-2別紙について説明)</p>
会 長	<p>ありがとうございました。事務局の方からそれぞれ内容についての大枠について説明いただきましたが、ここまでの部分、本当に専門部会の皆様、時間を作って協議検討していただきありがとうございました。部会長はじめ専門部会の委員の皆さんから少し補足、或いは説明がございましたらお願いしたいと思います。部会長よろしくお願いたします。</p>
部 会 長	<p>(部会長意見抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これはあくまでもビジョンであるため、これからの区内におけるボランティアの一つの指針として、多くの方に活用していただけるものと信じている。 ・20年ぐらいにわたるボランティア活動の様々な活動が組み込まれながら、蓄積されてきた歴史がある。現在また新たな時代に入って、特にこの3年間コロナによって、このボランティア活動も様々な形で、そういうやり方がまた少し変容している。それらも踏まえながら、専門部会の中の委員の細かい視点・ご意見を指摘していただき、今の形になった。その辺も含み置きいただき、さらなるご意見をいただきたい。
会 長	<p>専門部会委員の方、お願いします。</p>

委員	<p>(委員意見抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからボランティアをしていこうという方に、理解をしていただけるような内容ということ視点を置いてきた。運営ビジョンの見せ方が大事ではないかと思う。 ・これからボランティアしようというような方には、図とか、表とか、委員のイラストとか入れたというところがとても肝ではないかと思う。 ・新たな板橋区のボランティアの進んでいく道がSDGsとともに進んでいくのではないかと思う。
会長	<p>(3) ビジョン素案について</p> <p>ありがとうございます。他に専門部会の方で関わられた方で、特にという方はいらっしゃいますか。この後皆さんと改めて内容について確認をしていきたいと思しますので、その際にでも結構です。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>令和4年度初めはプラットフォームって何かということを含めながら、板橋区は、SDGs未来都市に選定されており、SDGsの17目標を進めていくということは、具体的に行動するということでは、このセンターの動きも、そうした17の目標と重なる部分もありますので、連動させながら進めていければということもあり、形づくられてきました。これは本当に部会の皆様、そして全体の委員の皆様のご尽力のおかげと思っております。</p> <p>皆様方と作り上げてきた、今、説明のあった内容について、様々ご意見・ご感想を含めてでも結構なので、皆さま方からもご意見をいただければと思います。</p> <p>今素案の方いただきましたので、3章構成になってますので、少しまず1章のところ、ビジョンの作成にあたってという、ここにおいて委員の皆さんからご意見等ございましたら、お聞かせいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。全体のこの1章、2章、3章の流れについて、少しフォーマルの形づくりというところでの第1章ビジョンの作成にあたってというところですが、ご意見ありましたら挙手をお願いいたします。これまでの板橋区のボランティア推進の歴史を踏まえながら、近年の動向を踏まえ、こうしたビジョンの作成になっているというところを示している部分です。</p> <p>1章については、よろしいでしょうか。もし特に大丈夫なようでしたら、もう一度事務局チェックしていただきますが、これを第1章のところをこれで進めていきたいと思します。</p> <p>特にご質問ないようでしたら、これにつきまして専門部会への下命事項及びビジョン案に、反映していただきたいと思しますので、ここの場でそれを認めていただいたということよろしいでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>それでは引き続き、第2章、ビジョンの基本的な考え方として示したところをどのようにとらえていくのか、なるべく具体的に区民の皆さんにもご理解いただきながら、進めていくというところで記載内容について、ご意見等ございましたらよろしくお願いいたします。いかがでしょうか。</p> <p>大分言葉にこだわりながら、皆様のご意見が反映され、ここに至っているところですが、全体を通して見て、何かこの辺が、気になるなとか、ございますでしょうか。SDGsの目標を含めてボランティアセンターの目標と重ねて、どう実行させていくかということが一つこのビジョンで示されていくという形になると思しますが、この第2章につきましてはいかがでしょうか。</p> <p>では特にご意見ないようでしたら、専門部会でこの章についてご確認をいただき、下命事項及びビジョン案として反映していただくということ、確認させていただきます。ありがとうございます。</p> <p>それでは引き続き第3章今後の方向性と、第4章の資料のところ、資料のところにも先ほど申し上げたような、板橋区の持つ過去の経緯のことも踏まえさせていただきながら、やはり会議体、その歴史的な積み上げがあって、今に至ってる。先人の方</p>

	<p>たちのご努力の基をこうした計画、ビジョンが立ってきているというところを大切にしながら、これからの区のまちづくり等含めて、ボランティアセンターがどう機能していくかというところになると思いますが。こちらについて、特にプラットフォームという、これも当初、何ぞやというところからスタートして、皆様方もいろいろお話をさせていただき、特に専門部会のところその内容について、より精査していただいて、どんなものを進めていけばいいのかということで、とらえ直しをしながら、図式化していくこと自体も難しかったと思うんですが、進めていただき記されています。</p> <p>これについて、今後の方向性の一つのポイントにもなってきますので、ご意見等いただければと思います。いかがでしょうか。地域の方から見ると、もしかしたら文言等難しい面もあるかもしれないですが、少しずつご理解を深めながら、やっていただいている方。特に協働の部分なんかも、どういったところと協働していくことが大事なのかとか、そういう整理をしていただいて、とても丁寧に、整理をしていただいているというふうに思いましたが、いかがでしょう。</p>
委員	<p>(委員質問)</p> <p>・災害ボランティアの区の危機管理部との、どのような連携協議をされているのかがちょっと見えない。今後の方向性として、どのような連携をとられていくのか、また一般区民をもう少し巻き込めるようなボランティア人材じゃなくって、その人を中心として区民がどう動くか何かっていうのをちょっと説明いただきたい。</p>
ボラセン副所長	<p>(回答)</p> <p>災害ボランティアの防災の活動も含めてのご質問ということで、現状どういう形で検討を進めているのかのお話をさせていただきたいと思います。今この協議会の取り組みも、かなりポリュミーに活動してるところがあって、災害ボランティアのところは少しずつ今話を進めているところでございます。</p> <p>まず今やってる取り組みは、災害ボランティアセンターのマニュアルがあるんですが、このマニュアルを作ってから大分期間がたっているものでございまして、見直しをしているというのが現状でございます。具体的に言うと、災害ボランティアセンターの設置場所は小豆沢体育館になるんですけども。この小豆沢体育館のどこの場所を使うのかというところが少し曖昧になっているということもありまして、どの場所を使えるのかというところを、区の危機管理の防災担当と、地域振興課と社会福祉協議会・ボランティアセンターで検討を進めているところというのがまず一つございます。</p> <p>それからもう一つ、災害時にボランティアの方たちが活動を進めていくときに資機材がないと、活動現場に行っても手が出せないってことになってしまうので、災害ボランティアセンターの備蓄品の整理ということで、不足している部分もありましたので、その調整をしていたというところでございます。今年度中に少し資材については、導入を図ることができそうだという状況になっているところです。</p> <p>災害ボランティアの養成については、毎年1、2回という形で養成事業を進めてきているところでございます。この方たちが、個人でボランティアセンターに登録をして、ボランティアセンターからの呼びかけがないと、なかなか活動がこう生まれていかないという状況がありましたので、災害ボランティアに今登録してる方たちが、自分たちの活動として進めていけるような取り組みができないかということで、少しプログラムを作って、関われる活動が生まれるように今しているところでございます。</p> <p>もう少し地域との連携とか、多くの方々に関わる機会ができないかというところを検討しているところでございますので、半ばの状況ということでご理解いただければと思います。はい。以上でございます。</p>
会長	<p>他はいかがでしょう。</p>

委員	<p>(委員意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボラセンが災害時には災害ボラセンになるっていう考え方でいいのか。ボラセンと災害ボラセンの因果関係は文章からだけでは見にくいため、ボラセンが、いたばし災害ボランティアセンターになることを、ミッションの方で書かれていた方が、積極的に参加できるのではないかな。 ・どこが活動拠点になるのかっていうのは、初めにはっきり言っていた方が整理しやすいと思う。
事務局	<p>事務局から返答させていただきます。おっしゃる通りの部分もあるかと思います。因果関係が見えないといったところで、災害ボランティアは別で会議体を設けているっていったところですね。あまりここで言及していないっていったところはあるんですけども、とても大事なテーマですので、そのあたりはわかりやすい表記をしていったほうが良いと思いますので、事務局のほうでまた精査させていただきます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。今の意見を反映して最終のところでもまとめをいただくということですね。</p> <p>他の方はいかがですか。第3章、第4章についてはよろしいですか。</p> <p>もし3章、4章の部分についてもこちらの内容を基本にご了解いただけるということであれば、今の防災のところの記述については、改めて専門部会の方とともに内容について、まとめていただき、下命事項及びビジョンに反映させていくということで、ご確認させていただいたとして、よろしいでしょうか。</p> <p>ご異論はありませんでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>それでは、皆さん推進協議会の中ではいろいろご発議をいただき、全体をまとめたのがこの形になります。専門部会の部会長そして部会長代理の方から先ほどご報告もあった通り、本当に皆さんのお力添えの中で整理されてきたものと思います。</p> <p>まとめの部分として皆さんの方からもご感想等ちょっといただければと思います。</p>
委員	<p>(委員意見抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉の分野にずっといるため、比較的ボランティア、自分がやる側としても、受ける側としても身近に感じているところだったけれども、世の中そうじゃないんだなと感じていたところ、反面、こんなことがボランティアになるんだっていうところの発見であったり、特に切り口を変えればボランティアをされた方がたくさんいるっていうことも少し感じている中であつた。 ・やはり人材不足だとか、もうこの間も先日も、地元のキャンプに参加したんですけど。やはり人数が足りない。で私たちもどんだん年をとっていくっていう葛藤がある。 ・ボランティアセンターは今回プラットフォームという新しい形を入れるというふうになってるけれども、実際にやってることはもうプラットフォームそのもの。それを、わかりやすく示すっていうことと、繋がりがいっぱい区内で活動されてる方はたくさんいるし、ボランティアされた方もたくさんいる。そこをいかにつなげていくかっていうところが大事だと思う。 ・ボランティアセンターの認知度がまだちょっと低いような気がする。 ・板橋の総合ボランティアセンターをどうしたら広げられるか一番大事なのは可視化することだと思った。なのでこの素案ではとても可視化されてるので、よかったなと思う。 ・ボランティアがどういう形で行われてるのか、またどう頼めばいいのかっていうところが、学校だと見えないので人づてにだけだったのが、こういうシステムあるということを知って、今後整理されていくことで、どう浸透していくかっていうのが非常に聞かれると感じている。 ・見える形でできてきてるので、あとは実際にそれが運営できて、動き出したところ

まで何とか行って欲しいというか、動いてたところでまた皆さんにどんどん周知されていくっていう、そこがこれから見れるとうれしいなと思う。

・ 今後はパブリックコメントで、区民の方々にもご覧いただきながら、またブラッシュアップできるところはしていくということになるので、もう少し時間や意見をいただきながら、最終形に完成させたいと思う。

・ 今後さらなる情報共有によって、特に支援・サポートを受ける側の人も、活動や活躍ができるっていうことが広がるといいと非常に期待をしている。

・ そもそも何を目指すのかが明確になっていることで、原点に立ち返るというか、何のためにやっていくのかというようなことが、みんなにわかりやすい形であるってすごく貴重なので、そういった形でぜひ活用をこれからされていくといいと思う。

・ 地域の活動に繋がる連携や、関係する議案が不足しているというようなこともあるので、それから課題は何かということが問題点が出ているので。これからこれを基本として、勉強していきたいと思う。

・ ボランティアは日々タイムリーに変わっていくものだから、30年までの間の進捗状況、丁寧に見ていくというところで、安心してこれから私たちも活動していけると思う。

・ 10ページの既存事業の整備の中に、地域活動を支える人材育成ということで、対策の中で人材育成を行っていくっていうことを触れているが、大きな枠組みがシステム・事業等の整備の中に入っているが、もしかすると人材の育成とか活性化っていうのは別の方策として、切り出して分けても良いのではないかと全部見直した中で、気になった。

・ すべての人がボランティアになって、すべての人がボランティアを受け人になるような、そういう一つの可能性も作っていくのがボランティアセンターの今後の楽しみなどところ。強制できるものでもないし、自主的に参加していただくという醸成を、どうやって作っていくのかというのが、これからの課題としては楽しみなのか。冒頭に取り入れたSDGsという考え方を浸透させていく、そういう考え方の中に育っていくということ、これから実践を通してやっていくんだらうと思う。

・ 発信の信頼度を上げることが、ボランティアを募集するときのことに繋がるかと思う。

・ ボラセンが信頼度を上げることが、いざという時、活動がスムーズにできるようになる、プラットフォームづくりなんじゃないか。

・ 恐らくは今共同体の再構成をしているところ、新しい未来の都市型の共同体をつくっているところというふうに考えるので、これで完成、終わりっていうことではなく、持続可能な、また新しいステージのことについて、出てきた課題を解決できる、そういう柔軟な組織であることを祈っている。

会長

皆さんとの協議の中で、2030年までを目途として、一つのビジョンとして、きちっと方向性を示し、見通しを立ててきました。

あとは、どう実行に移していくかっていうところです。センターの役員会や運営委員会が今度はどのように、ここで示されたビジョンを、具体化していくかっていうことが問われてくるわけです。大事なことはプラットフォームを取り入れていくということは、ボラセンはそもそも協議体組織である社協が、いろいろな社会資源の方たちと連携しながら、運営をされています。それが区民の人を初め、NPO含め企業の方も入って、それらと共に運営をしていくような方針を持ちながら進めていくところに、さらに今回はSDGsの視点を持って、区は、すでにもうそうしたSDGsを未来都市として進めていくっていうことをされて、一つのそこの方でこのビジョンを示しています。

多分にこちらでは、すでにボランティアとしてやられてる活動なども、重なっていくと思います。子どもたちの自然体験とかも、自然を大事にするか環境のことをどう考えるかとか、いろんなところでリンクしていますので、皆さんおっしゃってたよう

に可視化するというところで、私は今回皆様のご尽力があつて、こうした形で少し見える化されてきたのだと思います。

これから大事なことはSDGsで示された目標を、実現していく上で、その行動を担うところではボランティアセンターという役割はとても大きい。ボランティアはやはり行動する実践するわけですから。そうしたところで、どう連携していくのか、区としては国からも認められて未来都市として位置付けられていますから、それを実行する上ではやはりボランティアセンターの機能が大事だと思います。

さきほど皆さんがおっしゃっていたようなボラセンがなかなか知られない、企業人はSDGsからのアプローチでボランティアを見る方が理解しやすいと思うので、いかに企業関係者を巻き込んでいくかということや、地域の方たちとどう関係をつくっていくのか等、その見通しをこのビジョンで立てたので、具体的にしていくという作業が、どう実現されるかっていうことが大切になると思います。委員の皆様はそれぞれの関係団体から出ていただいていますので、ぜひ見通しを立てたところを踏まえながら、皆さんの活動の中でも生かしていただき、できる限りセンター運営ご協力をいただき、関係各所と、企業もネットワークやSDGsの関係でいろいろやられていると思いますので、企業単位のネットワークなども活かしながら、連携して、区の一人一人が、安心して、生き生きと生きられるような区をつくっていくところに向けていただく必要があります。そういう意味では、人材の部分では、やはり未来の子供たちが、この区を愛し、そして住み続ける、そうした区になっていただくことが、人材の育成でも大事だと思います。

これからは、学校、教育部局との関わりが必要で、他のセクションと繋がりをつくっていく。そういう意味でのプラットフォーム構想を出していますから、連携・協働ができるようにしていくことが大事になると思っています。

今あるこれまでに培った板橋区の歴史の中で築かれた大切なものを生かしながら、時代のニーズとして新たに求められていくようなものは、新たな創造をしていく、ところでこのビジョンが生きることを私も願っています。

そういう意味では、皆さんが先ほどの第1章から第2章3章そして第4章のところ、そこで示された何点かの課題については、また専門部会の方に、もう一度まとめのところで確認をいただくとありましたが、これからの専門部会への下命について確認をしていきたいと思いますが、これらについて進めるところで、今の内容も含めて最後の事務局の説明であると思いますけれど、パブリックコメントを出すに向けて最終の内容を、検討いただくことになると思います。

いずれにつきましても、本日幾つかの課題のところをもう一度精査させていただき、それを素案として、基本的にはここでご確認していただいたものを生かしながら、ビジョンとして提案をしていくということで、ご了解いただけてよろしいでしょうか。ありがとうございます。

それではすべての内容について確認をしました。先ほどの防災の関係、人材育成に関する部分。それらに関して、もう一度少し専門部会のところで、部会長の方で確認をいただき、最終的には、私と事務局と部会長で一任をいただくような形で、先ほどの皆さんの意見の内容を確認させていただくような形になると思います。よろしいでしょうか。

先ほど出ました内容を事務局と整理をして、どのように、文言を書き加えるのか、或いは少し順番を変えるとか、その辺は改めて皆さんに確認がとれ次第お伝えするということになると思いますが、パブリックコメントを出す前に皆さんにご確認いただくことになると思いますので、それで預らせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは議題としては、すべて終えることができましたので、事務局の方から今後のところを、ご確認をいただきたいと思います。

<p>事務局</p>	<p>はい。本日もいろいろご議論いただきまして本当にありがとうございました。次回の協議会の確認から入らせていただきます。第7回でございますが、12月19日の火曜日14時から、本日と同じ4階、災害対策室A・Bにて開催する予定でございます。詳細につきましては決まり次第ご連絡をさせていただきます。開催通知、事前配布資料等についても、改めてご案内をいたしますので、よろしく願いいたします。</p> <p>最終の第7回専門部会の方でございますが、こちらは11月7日の火曜日14時から、グリーンホール7階、701会議室で開催を予定してございます。なお、協議会の皆様の中で、この専門部会の傍聴を希望される方がいらっしゃいましたら、事務局までお申し出いただければ、ご準備をいたします。</p> <p>なお、本日の資料へのご意見でございますけれども、もしございましたら、1週間後、8月15日の火曜日までに事務局へお寄せいただければこちらのビジョンの素案の方を改定する際に、ご参考にさせていただければと思います。</p> <p>あわせて、今後の動きですけれども、ビジョンの素案について、9月25日に区民環境委員会という区議会が開かれます。そちらに、このビジョンの素案報告を地域振興課のほうからさせていただきます。それと同日付でパブリックコメントの募集を区ホームページで行います。このご意見の締め切りにつきましては、10月中旬ごろを予定してございます。区議会からの意見と、パブリックコメントの意見をもらって、またこの素案に反映をしていくということになるかと思います。いただいたご意見に対します考え方。これはこれまでの協議会ですとか、専門部会の協議内容を踏まえまして、事務局のほうで案を作成させていただこうと思っております。こちらの方につきましては、12月上旬頃の発表を予定してございます。</p> <p>また11月の専門部会后にですね。再度、12月1日に、区民環境委員会がございまして、こちら最終案をまた報告をさせていただきます。先ほどパブリックコメントでいただいたことに対する考え方を公表するというふうに申し上げましたが、タイミングとしては、この区議会の定例会に間に合うように、まとめさせていただきたいと思っております。</p> <p>スケジュールの都合上委員の皆様にも、対面での確認というのが、なかなか難しいということになります。というのは、先ほどご案内させていただきましたが、12月19日にこの会議体予定してございますので、大変申し訳ないですが、了解得る前に区議会の方に、最終報告案を出すことになってしまいます。その関係で先ほど会長様からも一任というお話が出てきました。大変申し訳ないんですが、一足先に区議会のほうに最終案の方を出させていただきます。こちらの内容につきましては、部会長と、会長様と調整をさせていただいて、一旦まとめさせていただこうと思っております。当然のことながら、皆様にも対面ではお話しすることできないんですが、メールや郵便で、その案をお配りいたしますので、ご確認の方お願いできればと思います。</p> <p>事務局からの説明は以上でございます。ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>3 閉会</p> <p>はい。ありがとうございます。確認ですけれど、11月7日に専門部会があるというところで、今もあつた課題なんかを踏まえながら、資料の修正は、まずこの本会議のところで出たものは11月のところで一度確認をいただけるということですね。そのところで、今ご発言でちょっとこの辺の検討ということを示していただいたものが、一応部会のところでもう一度整理をしていただいて、その内容を踏まえて、パブリックコメントのほうに出されている。一応私にも確認をしていただいてということで、パブリックコメントのほうに出て、それを12月の区議会のところ、最終案として示していく予定である。</p> <p>あとはその部分については、先ほど言ったような責任者のところで、一任させていただくということでの確認、そのまま進めていくということですね。ここまでも皆様のご意見をきちんと確認をしながら、最後の最後、やってきてますので、皆様のご意向を受けとめながら進めていくということですね、ぜひよろしくお願いいたしま</p>

	<p>す。</p> <p>こういった形で進めていくということで、今日の会議の方は、議事も滞りなく終わることができましたので、専門部会の方は本当に数多くやっていただいて大変恐縮ですが、11月のところ、どうぞよろしく願いいたします。それでは本日の協議会の方を終えたいと思います。</p> <p>皆さんありがとうございました。お疲れ様でした。</p>
所管課	区民文化部地域振興課 地域振興係 (電話 3579—2163)